

沖縄県におけるCOVID-19

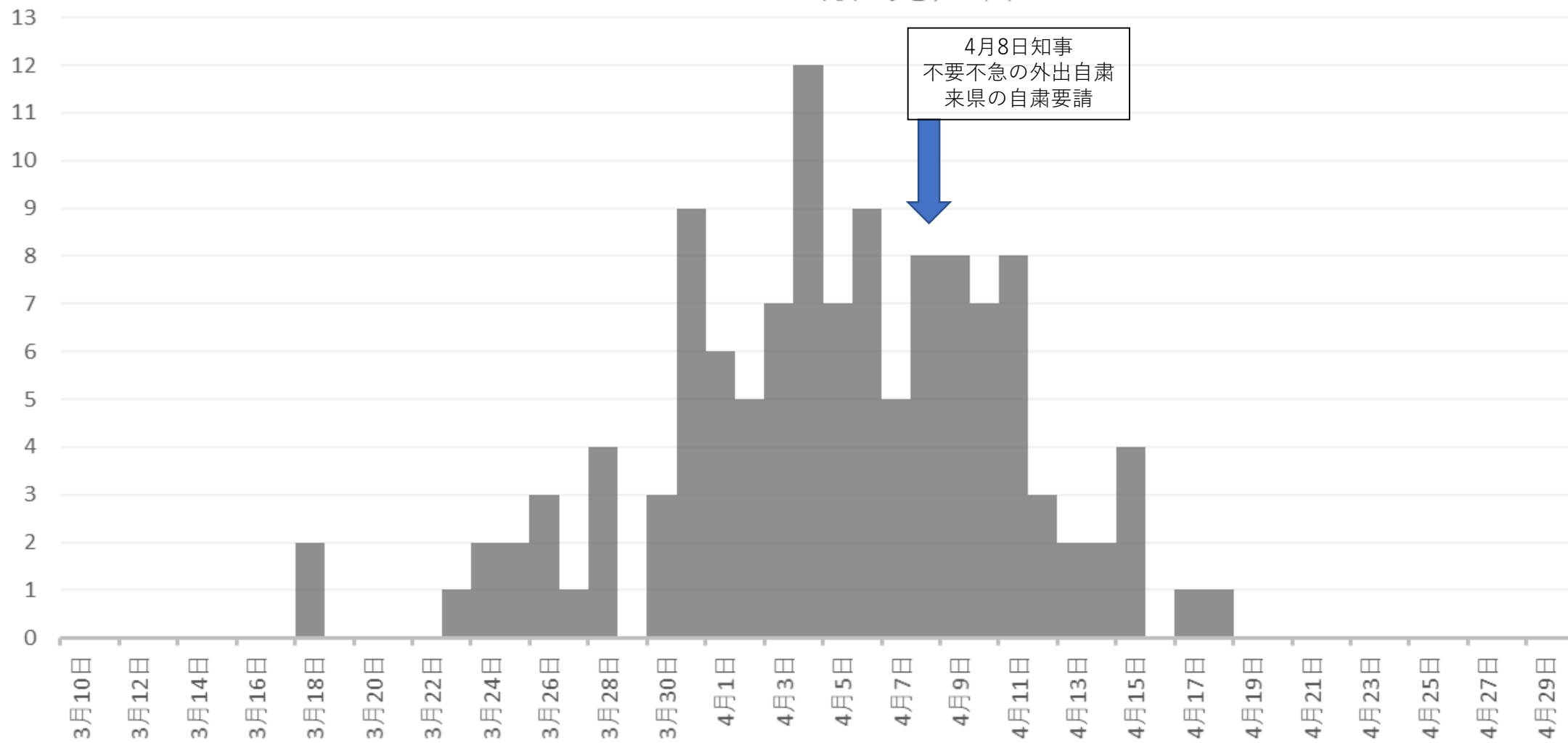
2020年4月21日午後5時現在

患者数125名（4月22日新規報告4例は含まれていません）

（米軍関連3名、無症候性病原体保有者1名含めず）

沖縄県内発症者 流行曲線 n=125* 2020.4.21(15:00)

※ 発症日ベース



4月8日知事
不要不急の外出自粛
来県の自粛要請

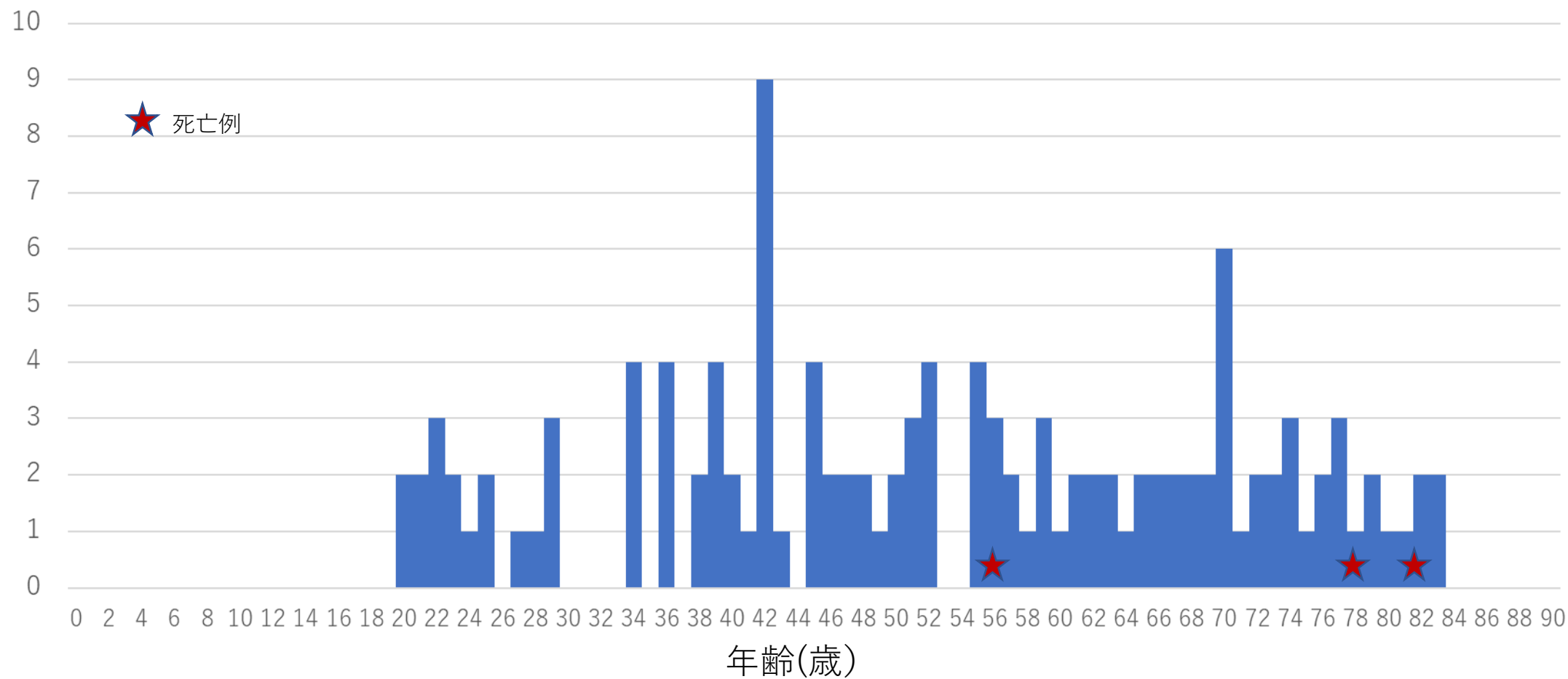
*2月中の3例（Diamond Princess号関連2名、感染源不明例1名）は非表示
発症日不明の米軍人3名あり（確定日3名とも3月28日であるが含まれていない）

4月21日現在の沖縄県COVID19患者の概要(n=125)

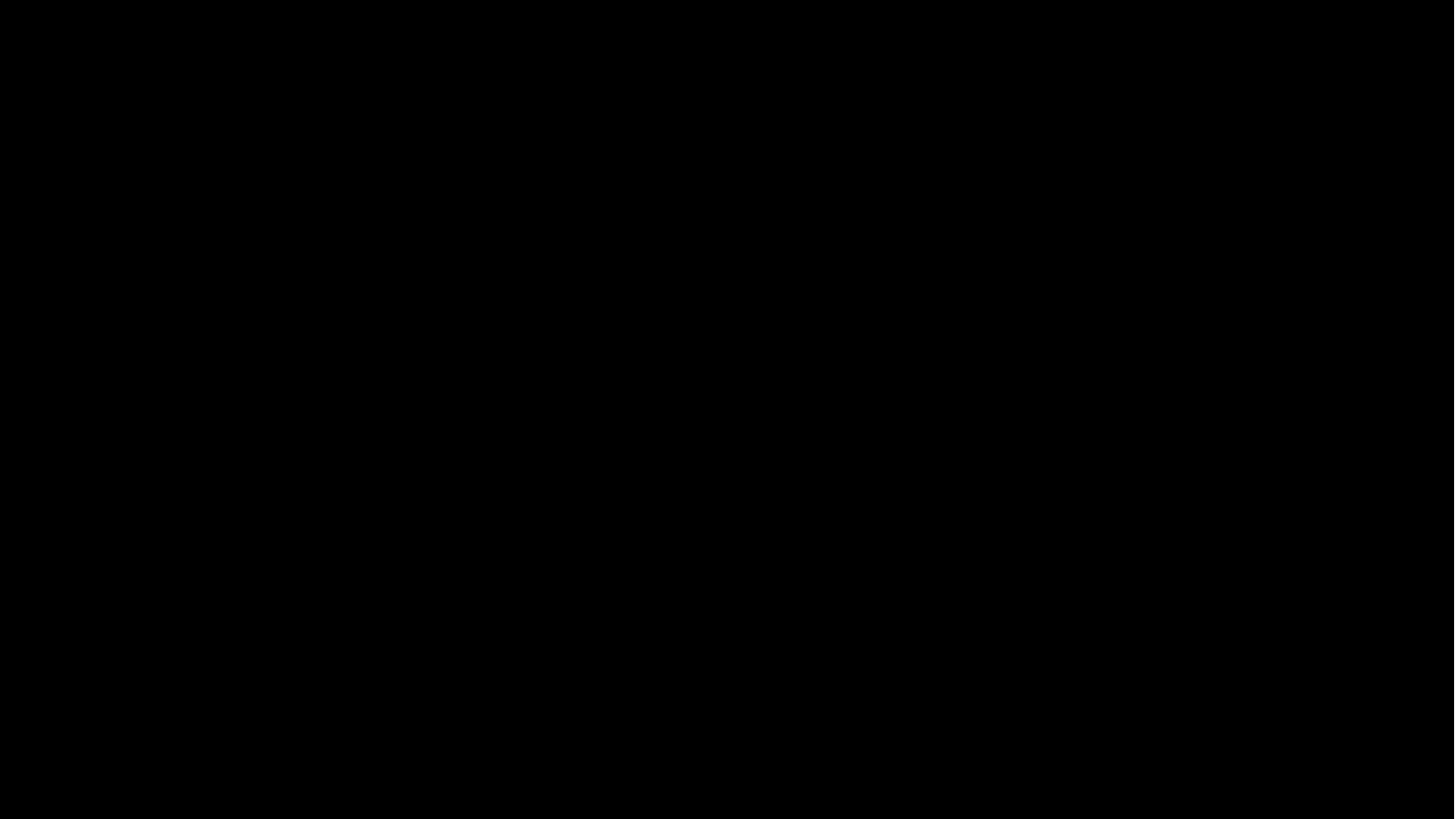
項目	人数			
性別				
男性	74人	60.2%		
平均年齢*				
全患者	123人	52.6歳	SD ± 17.6	
重症患者以外	113人	51.8歳	SD ± 17.6	
重症者	10人	63.6歳	SD ± 12.6	<i>p=0.04</i>
潜伏期間				
	77人	5日	SD ± 2.4	
入院期間				
	15人	9.9日	SD ± 6.1	

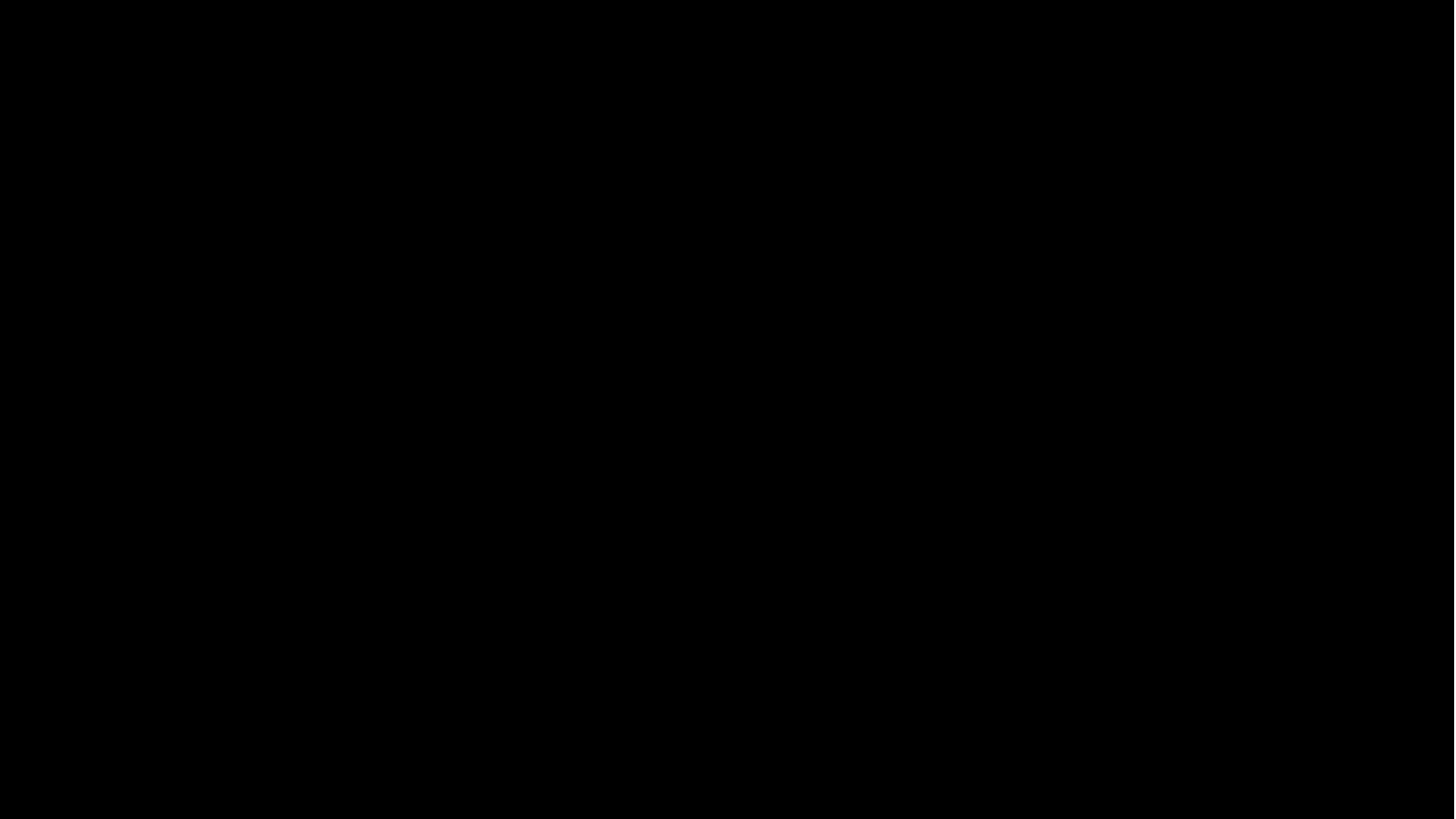
*2名年齢不明(うち1例重症例)、1名性別不明、入院期間は死亡退院も含む

年齡分布 (n=125*)



*2名年齡不明





全体としての疫学的視点からの評価

- 複数の感染者が3月下旬を中心に県外から感染者が来沖していたことが示唆される
- 複数の患者侵入点があり、ほかの自治体と比較し感染拡大の様相が異なる(現時点では小さいクラスターが多発している)
- 来沖者➡その人と接した人➡その周囲の人の感染がすでに始まっている。県内の人の行動制限、距離を保った行動、自制ある活動が求められる

今後についての考察

- 県外からの人の流入はかなり制限されている。県内の人の動きを注視する
- 成果は2週間後に出るため今しばらく患者発生が続くことが予想される。その間に特に夜の街クラスター、院内感染や透析患者、デイケアなどの療養施設での感染拡大を未然に防ぐことが重要
- 他の自治体は上記クラスターが単発で発生しているが、沖縄県の場合同時に発生する可能性もある。医療機関や衛研の検査体制を十分考慮した対応の構築が必要